

日医発第 1951 号（健Ⅱ）
令和 5 年 1 月 13 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菫 敏

ウガンダ共和国におけるエボラ出血熱の終息宣言（情報提供）

世界保健機関（WHO）より、ウガンダ共和国においてエボラ出血熱が報告されたことについては、令和 4 年 9 月 28 日付日医発第 1276 号（健Ⅱ）をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、令和 5 年 1 月 11 日、最後の患者の発生から 42 日間、新たな患者の報告がないことを受け、同国保健省がエボラ出血熱の終息を宣言した旨、別添のとおり、厚生労働省より本会に対して周知方依頼がありました。

なお、142 例の確定例（うち死亡 55 例）が報告されたとのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令 和 5 年 1 月 12 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ウガンダ共和国におけるエボラ出血熱の終息宣言（情報提供）

令和4年9月20日、世界保健機関（WHO）より、ウガンダ共和国においてエボラ出血熱の報告がされたことを踏まえて、「エボラ出血熱に係る注意喚起について」（令和4年9月27日付け事務連絡）により、対応を依頼していたところです。

令和5年1月11日、最後の患者の発生から42日間、新たな患者の報告がないことを受け、同国保健省は、エボラ出血熱の終息を宣言しました。142例の確定例（うち死亡55例）が報告されました。

つきましては、貴会会員に対し、周知方よろしくお願い申し上げます。